

発表団体名：わくわく研究室

連携メンバー：

佛教大学社会連携課、北野商店街復興組合

## 活動内容

「わくわく研究室」は、地域の子どもの居場所づくりまた、理科にふれる機会をたくさん提供したいと考え、月に一度、北野商店街近隣の小学生を対象に、仁和会館を拠点に理科の実験教室を行っている。今年度の取り組みは以下のとおり。

### 【実験実施内容】

7月21日 北野こども夏祭り

「スーパーボール作り・表面張力を感じよう」

9月13日 「ダイラタンシー現象って何？」

10月18日 「氷の世界へようこそ！」

### 【今後の実施予定】

11月 3D ホログラム体験 12月 万華鏡を作ろう

1月 静電気で遊ぼう 2月 化石のレプリカ作り

3月 大好評だった実験をもう一度

## 取り組みの成果・活動で工夫した点

- ・今回は前年度に比べ、多くの子どもたちが参加してくれるようになり、平均して15人近くの子供たちが参加してくれた。夏祭りでは、100人を超える方々に楽しんで頂き、「わくわく研究室」が地域に少しずつ根付いていることを実感した。
- ・広報活動にも力を入れ、横断幕やのぼりの作成、またいつ行うのかを町の掲示板に貼ることでより多くの人々に「わくわく研究室」を知ってもらうようにした。



## 連携メンバー・役割

北野商店街復興組合	仁和会館の提供、イベントへの招待
佛教大学社会連携課	広報活動、運営相談

## 今後の課題・目標

### ● 今後の課題

・「わくわく研究室」の認知度は、前年度に比べて上がっているように思えたが、北野商店街全体ではまだまだ低いように感じる。老若男女問わずに参加し楽しめる科学教室を行っていきたい。そのためにも、広報活動により力を入れていき、場所も仁和会館だけでなく文化会館等で行うことも検討していく。

・子どもたちだけでなく、大人の方々も楽しめるような実験内容を考えていく必要がある。

### ● 目標

・今後、子ども科学教室をより地域に根付かせるために、平日の夕方だけでなく、休日には大人の方々も対象にした実験教室を行っていきたい。そのためにも、地域との連携をより大事にし、北野商店街との共同開催を行うことや、支援金をもとにより良い実験材料を調達し、もっと地域の人々が楽しめる実験を行うことが今後の目標である。